夕刊
新京日日新聞

定價　一箇月 金三圓八十錢　郵税 一箇月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所　新京日日新聞社
電話三〇〇〇・三三二五番
發行人　十河榮忍
編輯人　松本啓二郎
印刷人　谷

王道政治の眞意を如實に知らす
衞生司の施療班活動

（民政部衞生司ではハイラル、チチハル、チャラントン地方の平定後の一般民衆に王道政治の眞意を知らしめる企圖の下に一班十餘名より成る無料施療班三班を同地方に派遣し第一班（班長張福有）はチチハルを中心に第二班（班長徐君藩）はチャラントンを中心に、第三班（王玖璞）はハイラルを中心に一月十八日より一ケ月間に亘り一般民衆に對し無料施療を行つたが各班とも頗る好成績を納め殊にチャラントンを中心とせる第二班の如き毎日百二三十名の患者を治療し各班とも地方民から多大の感謝を受け本日午後三時三十五分着車輛にて無事歸京した

建國記念大會
ポスターの圖案等
懸賞募集で

滿洲國建國周年記念大會中央委員會は意義深き一周年をより有意義たらしめる爲め各方面に亘つて着々研究準備を進めつゝあるが其一つとして左の懸賞募集を爲す事になつた

懸賞募集作品規定

一、募集作品種目
イ、宣傳ポスター圖案
ロ、建國記念標語
ハ、學生作文
ニ、同上詩文
ホ、一般民衆及學生の建國記念として爲すべき事業に對する意見
ヘ、俗謠　同上の意義を含む

二、說明
イ、宣傳ポスター圖案は滿洲國民建國の精神を強調し民族協和、世界平和、開發資源、豐富民生等王道の理想を顯揚表現せるものたること、大小を問はず
ロ、建國記念標語は（同上の意義を唱ひ）簡單明瞭にして意味深長なるもの、字數は最大一種十八文字を限りとす

例題　掃滅匪患以維民生　民族協和四海兄弟　天產滿洲國情在行王道　喚醒國民精神　完成眞正獨立東亞建設之光明　是世界和平的光導

ハ、學生作文は（同上の意義を唱ひ）一千文字を以て限度とす
ニ、詩文は（同上の意義を唱ひ）新古を問はず詩體自由なるも一篇二百文字を以つて限度とす
ホ、建國周年記念事業に對する意見はその國家的、全國的、地方的、個人的等何れのものたるとも差支なく、文體隨意なるも全文五百文字を以つて限度とす
ヘ、俗謠は滿洲氣分殊に建國の意氣と王道精神を唱つたもの三百文字を限度とす

因みに以上何れも表題及住所姓名を明記すること及清書すること文字不明瞭住所曖昧なるものは沒とす

三、應募作品は新京國務院內建國記念大會中央幹事會徵求有獎作品委員會宛發送又は郵送すること
四、締切明日は大同二年二月十日とす
五、審査は本委員會專門委員之を行ふ
六、審査の結果は三月一日の各大新聞に於て發表す
七、此項作品は凡て返却せず
八、賞金規定左の如し

種目	等級	賞金
イ、宣傳ポスター	一等	一（五十元）
	二等	五（十元）
	三等	一〇（五元）
ロ、標語	一等	一（五十元）
	二等	五（十元）
	三等	一〇（五元）
ハ、學生作文	一等	一（五十元）
	二等	五（十元）
	三等	一〇（五元）
ニ、詩文	一等	一（五十元）
	二等	五（十元）
	三等	一〇（五元）
ホ、建國記念事業	一等	一（五十元）
	二等	五（十元）
	三等	一〇（五元）
ト、俗謠	一等	一（五十元）
	二等	五（十元）
	三等	一〇（五元）

多門依田兩將軍の光榮

（東京廿三日發國通）長き迄りでは廿三日軍事奏上の大任を果した多門師團長、依田旅團長の苦勞を想し召され御紋付銀花瓶一個並に金一封下賜の御沙汰あらせられた

ハルピン特別市制
實施は六月頃
急テンポで發展せん

（ハルピン廿三日發國通）當地が行政上吉林黑龍江二省と東鐵特別區に別れて統轄されある爲、市制の發達を妨げつゝあるを改善して大ハルピン市を建設することに決定したのは建國當初の昨春であつた、從來ハルピン市政籌備公署を設けて吉、黑兩省當局と東支鐵道側とでこれが具体案を講究中であつたが東鐵側が今上該特別區に支出して居つた補助金の問題も大体解決したので來る六月頃には特別市制を實施され、東鐵管理の埠頭區と南崗、吉林省統治下の傅家甸、對岸松浦鎭を加へた大ハルピン市が出現し特別市政府の一機關で統一統治されることゝなる、斯くて滿洲の上における國際都市たる當市の發達は城內治安の恢復と共に急テンポで躍進を見るであらう

新京特別市制施行敎令
來月十日頃公布

新京特別市制施行敎令案は目下國務院法制局で審議中であ

匪賊掃蕩され
人民は業に安んず
白田、吉野兩武官視察談

（國通）錦縣の視察旅行に本朝飛行機で吉林、敦化、龍井を往復して歸京した白田參謀、吉野大尉の兩武官は同方面の情況について左の如く語る

飛行機で吉林、敦化、龍井に少時間宛着陸して見聞したのであるから詳細は判らないが先づ氣附く事は敦化の町を中心として鐵道沿線が活氣のある事だ、これは鐵道工事中である爲めと匪賊の一掃によつて田舍との交通が自由になつた爲めで同方面の建設も、豫想外に進捗して居る、吉林から敦化までの沿線は人の往來、荷馬車の動きが非常に多く長白山脈にかゝると人里から遠く離れた山中で採木作業をやつて居り此れを雪野原を引出してゐる有樣が、よく見へる龍井平原には未だ少數の鼠賊がゐるさうだがこれさても漸次解消しつつありとの事だとこれに見るも同方面の匪賊は殆んど掃蕩され住民は安んじて其業にいそしんで居る事が判る

因みに兩武官は廿四日出發北滿各地の視察に赴く筈であ

滿洲事件費
公債を決定

（東京二十三日發國通）政府は二十三日正午院內閣議を開き滿洲事件費支辨の爲公債發行に關する法律案を決定した

と一兩日中に審査を完了、舊正明けの二月六日の閣議に上提、十日頃には敎令の公布を見る筈で同時に國都建設敷地三千萬坪の廣汎なる地域を含む行政區域の指定もなさるべく建設地域の土地賣買禁止解除は十日後に持越されるものと見られて居る

日滿勞働者
賃銀と
生活必需品値段

新京總領事館警察署は管內に於ける日滿勞働者の賃銀並に日滿商人の生活必需品販賣値段に就て調査を行つて居たが其結果次の如き對比を見せた

種類		日本人	滿洲人
大工	一日	三、六〇	一、一〇
左官	同	三、八〇	一、二〇
煉瓦積	同	五、五〇	一、三三
瓦師	同	三、五〇	一、五〇
木工	同	二、〇〇	一、〇〇
疊職	同	三、〇〇	一、〇〇
指物	同	二、〇〇	六〇
ペンキ職	同		一、〇〇
洋服仕立	一月	三〇〇（食付）	三〇〇
靴職	同	七〇、一日	一、四〇
理髮	一月	五〇（食付）	食付 四〇
菓子職	同	六〇、〇〇	三五、〇〇
活版		三、〇〇	一、〇〇
製本		三、〇〇	一、〇〇
苦力			六〇

日用生活必需品

種類	日本人		滿洲人	
牛肉（中）	百匁	三六錢	一斤	八〇
鷄肉	同	四〇	斤	七〇
羊肉			斤	一〇〇
豚肉	同	三三	斤	四〇
鷄卵	一箇	四錢五	箇	三
豆油			斤	九〇
白菜	百匁	四	斤	七
大根	同	六	斤	一〇

但し滿人の一斤は日本の百二十五匁、日本金一圓は官帖三三〇吊の割合

怪人凱歌（百二十七）
須藤鐘一（作）　瀧秋方（畫）
（舞臺上演・映畫化）

常春壜（九）

やがて道をぐるりと一廻りすると、鬱蒼たる森の中に、一棟の古びた洋館があつて、軒燈のほのかな光りが其の一部を照らしてゐた。

洋館は三階建で、一階は球突場と、酒場とになつてゐた。

此の日、夕方の四時頃から、ぼつ〳〵と內外の紳士淑女が、二人づれ、三人づれ、又はたゞ一人でこつそりとやつて來て、洋館の裏門から吸ひ込まれるやうに姿を消すのであつた。

一階では、得意のキューをひねつて、堅々と冴えた球の響きを立てゝゐるものもあれば、酒場でキユラソー、ウイスキー、ブランデー、コニャック、アブサンなどの洋酒のコップをあげながら、靜かに雜談の花を咲かせてゐるものもあつた。

今日は、京都の紳士淑女によつて組織されてゐる常春會の例會日である。

纏め、會員間に配布されたプログラムの一節には、こんな風に書いてあつた。

○人生の春夢今酣、靜夜懺の行使（キネマ）
○白露結びあへず、むさんの夜あらし（實演）
○情海に波を爭ふこう龍の群（會員實演）

夕方、儀禮のカフエ・スパイダーを出た例の日本人と米國人の二人も、此の酒場の一隅に發見されてゐた。

二人はチビ〳〵とアブサンのコップをなめながら、小聲で話しあつてゐる。

米國人は、ふとポケットからプログラムを出して、讀んでゐたが、

『此のところ、ショヤノケン、意味分りまん』と、日本人の方へ突きつけて尋ねた。

『あゝ、靜夜の懺』と、日本人はうなづいて、ちよつてかんがへてから、

『ヴアージンに接する第一夜のライト、とでもいふのかな』と、又してもまづい說明をした。

それでも米國人はうなづいて、

『モデル、何者ありますか？』

『幹事の說明するところによると男の方は曾て其の罪を含められてゐたさうであるが、女の方はまるで何にも知らない、眞實の『ヴアージン』だといふことなんだ』

『そのヴアージン、可哀想です』

『極度の恐れと驚きとに、戰きつゝ生きた心地もなく、夢中で行動する所を、撮影する方も、普通のキネマとは違ひ、眞暗の室から壁の穴に寫眞機を向けて、こつそりと薄ぼんやりした隣室での奇怪な光景を寫したものだといふのだ。一寸外では見られない珍物だと、幹事が鼻を動めかしてゐたよ』と日本人はゆつくり話して聞かす。

『なるほど。――鼻をうごめかすどういふ意味です？』と、米國人は質問した。

『得意になること』

『分りました。そのヒルム、きつと面白い』と米國人は絕えず膝を進めて、コップをぐつと威勢よくあげたが、

『それから、セカンドの、シラツユムスビアエズ、ムザンノヨアラシとは、何の意味ありますか？』と更に好奇に充ちた光りを兩眼にたゝへて訊く。

『それは確か昨年の暮、儀禮の郊外で行はれた慘忍極まる强盜强姦殺人事件にヒントを得て、幹事が苦心慘憺の結果、案出したもので常春會自慢の出しものだといふことだよ』

『あゝ、知つてます。それ、子爵令孃殺し事件のこと、ありますか？』

『さう〳〵、當時、非常の大事件として新聞などにも盛んに書き立てられたから、君も覺えてゐるでせう』

『よく覺えてゐます。今晩、それを實演することありますか？』

『事件其のまゝといふ譯には行かんだらうが、幹事の自慢するところは、そのモデルに使ふ令孃が全くの素人で、しかも華族の令孃だから、此の點、眞に迫るだらうといふことです。彼女は自分が如何なる役目を演ずべきかを、まだ恐らく知らないだらう。深い事情は何にも知らず、只だ不安に驅られてゐるところへ、突然暴漢が現れて腰部を扼して氣絕させる。そして草の中へ引きずり込んで、傍らの枯木から金を奪ひ、腕時計をはづし、その他、さま〴〵の暴行を加へるのだ……』

聯盟が四項なら我は第五項を準備

自衛權の發動を闡明せん

帝國代表部に訓電

〔東京二十三日發國通〕日支問題に關する聯盟の狀勢に關し帝國代表より刻々本省宛の情報が到着してゐるが、それによると帝國代表とドラモンドイーマンス兩氏の會見に於ても委員會の事態が未だ最後的ならざる口吻をもらしてゐるが豫測し難きものあり、即ち外務省首腦部は二十三日朝來今後の對策に就き會議の結果、聯盟側で第四項に基き勸告書作成を開始するに於ては我國としても對抗上同條第五項により陳述書作成の準備を開始することになつた尚右に於て極東に對する聯盟の無能、無理解を指摘し且つ聯盟側が今後更らに同條第六項、第七項を發動するとも我が方針は何等變更を來さず、滿洲の匪賊討伐は勿論その他在支邦人保護の爲めの自衛權發動を必然自由に行使すべき旨を中外に闡明するに決定、その旨在ジュネーヴ帝國代表部に傳達した

第四項に移れば

聯盟との關係は中絶

〔東京廿三日發國通〕十九ケ國委員會で第四項に移る場合の對策に關し外務當局は本日協議の結果左の條項を決定した

一、第四項に行く共帝國政府は何等怖れず、帝國代表は第四項移行を阻止する樣な態度に出ぬ事

一、第四項による勸告を載せた報告書が二月一日に總會に附議される場合は再代表は反對を宣言す

一、是と共に第十五條第五項の規定に基き帝國政府の陳述書を公表し聯盟の報告を逐一反駁する事

一、其の結果聯盟との關係は中絶されたるものと認め松岡代表を始め各代表各隨員は引上げを決行する事

一、外務本省では直ちに右反對宣言等理由書の作成に着手す

右の趣旨を松岡全權に宛て訓電した

十九國委員會の聲明書

〔ジユネーヴ二十三日發國通〕二十三日の十九ケ國委員會散會後左の如きコンミユニケが公表された

本日の委員會は報告書草案に對し第一回の討議を行つた、右草案は總會をして規約第十五條第四項に依るその使命を果さしめんが爲めに十九ケ國委員會が總會に提出することを要求さるべきものであつて、委員會は如何に日支紛爭を解決せんとする委員會の努力が挫折したかを如何なる方法によつて總會に報告すべきか、並びにこの紛爭の事情を如何に敍述すべきかについて考慮した、委員會は總會が最も公正妥當なる解決として勸告すべきかの解決の問題は之を處理しなかつた、此の第一次討議の結果として報告書草案起草に關して提起せられた各種の諸事情を檢討する爲め一つの起草委員會を任命するに決した起草委員會は十九ケ國委員會に對しその事業遂行の經過を絶えず通告すべくその構成は左の如し

九國委員は佛、獨、英、白、スペイン、スエーデン、スイス、伊太利、チエツコである

二十三日の十九ケ國委員會

〔ジユネーヴ二十三日發國通〕十九ケ國委員會は二十三日午前十時三十八分開會、事務局で準備された第十五條第四項による報告書原案につき激論を闘はし審議一時間五十七分に亘つたが結局確たる方式を發見するに至らず、英、佛、獨、伊、白、スペイン瑞西、瑞典、チエツコの九國委員より成る起草委員會を任命し報告書の確定方式を起草せしむることに決定、午後零時卅九分散會した、次回の十九ケ國委員會開會は未定で、右起草委員會事業の進捗如何によるも多分五日乃至七日間を要する見込みである

第一回九國起草委員會

〔ジユネーヴ廿三日發國通〕九國起草委員會は二十四日第一回會議を開き第十五條第四項に基き報告書中先づ歷史的記述の部分の審議と起草とに着手することになつた

聯盟總會は二月始め頃か

〔ジユネーヴ廿三日發國通〕十九箇國委員會は一月末更に會議を開き總會召集の日取りを決定するものと期待されてゐるが、大体二月始め開會されるものと見られる

滿洲問題に對し日本は一厘一錢を期待すべきものでなく、武を以て臨まず、德を以つてすべきを理想として居る

續いて唯一の野黨國民同盟を代表して淸瀨一郞氏登壇

首相は時恰かも非常時に際會し我國現下の行政組織を更新し各省、政事務より解放された少數の國務大臣より成る國務院を以つて政治の中樞をなす事としては如何

九國起草委員會の任命に至る經緯

〔ジユネーヴ廿三日發國通〕今日の委員會は劈頭から第十五條第四項による報告書作成を巡つて議論沸騰し、特に日支紛爭の歷史的記述を取扱ふべき報告書最初部分を如何にすべきかに就き意見の間隔あり、英國代表エデン氏はリツトン報告書か充分紛爭の歷史的背景の起草を盡してゐるので之を採擇すべきであると力說し、これに對し各委員から議論續出し結局即時決定不可能なる事判明、激論の後今日の會議に持ち出された各種の觀念を總括して一方式案を起草せしむる事となり、既報の九國委員より成る起草分科委員會を任命するに至つたのである、この委員會は報告書の第一部、紛爭の歷史的起源を扱ふ部分を起草するに少くとも今後一週間を要するものと見られるが、この部分では紛爭の事實を述べるもので、報告書第二部となす公正適當と認むる勸告の起草に關しては更に十九箇國委員會を開く必

リツトン卿心境變化?

米誌記者に語る

〔新京廿四日發電通〕聯盟調査團委員長リツトン卿の最近に於ける心境の變化に關し米國有力雜誌「コリアース」は同誌記者シエフアード氏とリツトン卿との會見談を掲載し東洋問題並びに日本國民性に就き極めて明快なる解答を與えてゐる然も會見談中に於けるリツトン卿の東洋問題に對する答辯はその心境の變化に於て實に興味あるものがあるリツトン卿の答辯は即ち左の如くである

滿洲問題に關し日本は眞劍に考へぬいてゐる、到底脅しや何かで此の觀念を覆へすことは出來ない、從來日本は支那との紛爭は一切、內部的、地方的問題として取扱つて來てゐるのである、此の際他國の干涉は日本を一層硬化せしむるものである九ケ國條約、聯盟規約は結局支那に列國が干涉するから出來たものである此の際英米兩國は日支問題解決に當つてはあくまで急かず日本の立場に同情せねばならない、日本の人口過剩は爆發點に達してゐる滿洲に延びたのは自然である、これは英、米が日本に對し其領土を閉鎖した結果によるものである、滿洲に日本は延びた然し其處には匪賊や共產黨や軍閥がはびこり日本人の生命財產を脅威した、此處に於て滿洲國の建國となつたのである日本の民族性を研究するには個人的な日本人を知らねばならぬ、日本人の忠君愛國の念は殆ど宗教的なものである日本人は不名譽より死を選ぶ此の眞劍なる日本の立場を英、米等列國は考慮せねばならぬ經濟的ボイコツトを日本に與へることは不可能であると共にそれは爆發を加へる樣なものである」

調査團來滿當時より僅かに半歲の今日、リ卿が斯くの如く顯著なる心境の變化を見せた事は實に驚くべき事實でリ卿の心は初めて正義に覺醒したと言ふべきである。

春風たい蕩の衆議院本會議

質問戰はたゞ形式的

〔東京廿三日發國通〕二十三日の衆議院本會議は一時十七分開會、劈頭政友會の海軍通內田信也氏登壇

本豫算は軍事豫算と稱すべきだが徒らに非常時の名に隱れて之が檢討を怠るは斷じて憲政を無視するものだとて海軍豫算、滿洲事件費、兵備改善費に亘り肉迫し

今回の新軍縮案中兵力量の決定は憲法第何條により何人の責任において爲したか、また最近軍部內に政黨政治を否認し資本主義否定の空氣ありや否や

と結んで降壇

海相は補充計畫に關しては之は第二次計畫の頭なり、又海軍は明治大帝の詔勅の御趣旨に基きて行動するもので軍部內に政黨否認の空氣ありや否やは別問題なり

と答へ、滿場哄笑、首相拓相も夫々答辯、陸相此時出席し

私の解する處では兵力量決定は 天皇の大權に屬し國防、用兵に絶對必要だから參謀總長、軍令部長が立案し、帷幄機關を通じて行はれるものと信ずる、而して此事に關し政治、外交、財政等關係あるから充分協調兩者間に間隔あるべきでない

內田信也氏三度登壇散々當り散らして降壇、初陣の薫田均氏は

吾國外交の重心は滿洲問題である、然るに之が根本方針に關して政府は何等聲明なきのみならず政府の施設について見ても依然として捕捉し得ない

と前提し外相、陸相の所信決意を質し、轉じて聯盟問題に及び

聯盟が第十五條第四項を適用した場合は脫退か頬被りか放任するか、政府の意向如何また今後の對支政策具體案如何、又日露間の不安なる關係を如何日米間最近の陰鬱なる關係を如何にして展開するか

とまくし立て、最後に國民外交樹立を說いて降壇、時に三時十分、此間政友會の一部は降りろ降りろと彌次り、民政黨は皮肉な聲援を送る

外相は

政府の政策は日滿議定書となつてゐるではないか、聯盟に就いては將來の豫想の下に脫退か否か言明の限りではない、對支政策に關しては支那が自覺すれば一切の問題が解決する、對露對米關係には何等不安は醸されてゐない

次いで陸相は

と首相に肉迫、政友席續々退席、齋藤首相は愼重に考慮することが必要であると答へ、高橋藏相も簡單に答へ、內田外相は

日、露、滿の境界問題は先方からの提議もあり交涉してゐる

と答へ、鳩山文相、小山法相もそれぞれ答へ松本忠雄氏は

籠谷氏が交涉係長に

新京地方事務所庶務係內交涉係は事變以來事務多忙と且つ同係の重要性にかんがみ十二月一日で庶務係を離れ獨立し荒木地方事務所長が同係長を兼任してゐたが、二十四日付で同係主任籠谷保氏が係長に任命された

排日取締勵行で膠濟鐵路好成績

〔天津廿三日發國通〕山東省の財政狀態頗る良好で膠濟鐵路收入は昨年度約一千五百三十四萬元に達し、同收以來の好成績で、純益は百四十五萬元を占めてゐる右は同省が排日を取締り、

上海の大手筋商人も青島に出張

貨取引が順調なる爲めであるので、各地一般支那商民も抗日會の大洪縲々非難し、上海方面の大商店は青島に出張所を設け日本側との取引を行つてゐる狀態である

外交質問し、齋藤首相は聯盟對策は萬全を期す內田外相は滿洲對策は確固不動だ、支那對策は出來るだけ協調した、その爲め必要な用意もあるから此の誠意は支那にもわかる筈だ

と答辯し六時半散會した

貴族院本會議

〔東京廿三日發國通〕貴族院本會議は午前十時十分開會されたが、大雪の爲か傍聽席はがらあき直ちに秘密會に入り、再開後小切手法案、都市計畫案は何れも夫々の委員會に附託し次で二荒伯再び登壇

我が三千年の國民思想を收約せるは教育勅語であつて爲政者は此の點に鑑み國民思想の混亂を統一せよと痛論し、鳩山文相之に同感を述べ十二時八分散會した

貴族院の秘密會議

〔東京廿三日發國通〕貴族院秘密會議では共產黨事件に關し豫定の通り小山法相は四十分間報告の後質議に入る松村議員は事件に使用された〇〇〇の出所等を取調べて彼等の背後で支援せる者を突き止める等、不詳事件の根本的絶滅が必要でないかと質問、小山法相は調べてゐるが、未だ報告し得る迄に至らぬと答へた

衆議院の質問

廿五日迄續く模樣

〔東京廿四日發國通〕衆議院の國務大臣に對する質問は大体廿四日打切る豫定だつたが尙ほ質問通告者多數あるので廿五日迄繼續、同日は午前中豫算總會、午後本會議を開くこととなる模樣

市營住宅敷地

民政部西側二萬坪

資金卅萬圓は東拓が融資

新京市政公署で計畫中の市營住宅敷地は民政部西側二萬坪と決定したが右建設資金卅萬圓の融資に難色があるので東拓又は鴻業公司より年七分にて融資を受くべく交涉を進めて居る

北寧線の破壞鐵橋修復

〔奉天二十三日發國通〕山海關事件當時支那軍が退却に際し石河と湯沙の中間橋梁を破壞したが此程已に修理を終り列車が開通してゐることと判明した、これは平津より事件調査に向つた國際調査團(各國領事及び公使館附武官を以て組織されてゐるもの)が十三日北寧鐵路局に對し山海關、秦皇島間の鐵道線路破壞個所の復舊方を依賴したことがあるので此の理由によるのではないかと見られてゐる

滿洲國の輸出入激增

堀內紐育總領事の發表

〔ニユーヨーク廿二日發國通〕ニユーヨーク駐在總領事堀內謙介氏は廿二日滿洲國建國以來最初の貿易數字を發表、且つこれに說明を加へて曰く

世界各國が貿易減退に惱みつゝある際、大連港では千九百三十二年三月より十月迄八ケ月間に輸出四十六パアセント、輸入百九パアセント增加、殊に九月、十月には本國よりの鐵及鋼鐵の輸入は千九百三十一年同期の五倍に達し、支那との貿易はボイコツト、運動にも拘らず輸入七十五パアセント、輸出六十三パアセント增加した

人事往來

▲植野大尉(間島沿岸警備司令部)二十三日午後四時吉林へ
▲梅津少將(陸軍省)二十四日午前十時半ハルビンへ
▲服部少將 二十四日午後三時半來京滿洲屋旅館へ
▲孫輔忱氏(吉林省實業廳長)二十四日午前九時南行
▲金璧東氏(新京特別市長)同上
▲葆康氏(民政部次長)同上
▲呂榮寰氏(ハルビン特別市長)二十四日午前八時四十分ハルビンへ
▲郭賓山氏(吉林警備騎兵第一支所長)同上
▲奥田稱彦氏(大連金融組合理事)同上
▲前田步兵少佐(新京線區支部長)二十四日午前八時來京
▲宇佐美ハルビン鐵道事務所長同上
▲伊澤道雄氏(ハルビン鐵道部參事)同上
▲闞鐸氏(奉山鐵路局長)二十五日午後十時奉天へ

舊正に際し休刊

舊曆歲末年始に際し滿洲人工場員に給暇のため、二十六日朝刊、二十七日朝夕刊、二十八日附朝刊を臨時休刊致しますから御諒承を願ひます

機關區の十九少年 窃盗で捕はる
洗面、食事に行つた留守に 先輩や友人の金品を

年未だ十九才の前途あるうら若い青年が恐ろしい數々の窃盗を重ね將來を暗に導いて二十三日夜新京署司法係に檢擧された……最近市内中央通金潤寮及敷島寮内の盗難事件が『瀕々』として起り司法係刑事連は早朝から夜遲く迄汗みどろになつて犯人逮捕に奔走中、去る二十一日金潤寮滿鐵機關區勤務の錦織春吉氏が百圓札一枚、十圓札三枚が盗難にあつたとの屆出に或は犯人が内部に潜入してゐるのではないかと内偵を進めた結果、同じく機關庫詰の祝町五丁目居住本籍佐賀縣佐賀郡新北村寺井津羽田明宏(一九)が兼ね〲素行不良なる事を突きとめ、池田刑事の第六感は働き、二十三日夜日高、原田、後藤の三刑事と共力張込中、何喰はぬ風体で歸宅した所を逮捕、本署へ連行すると共に直に嚴重な取調を行つた處、池田刑事の第六感は見事當つて自分が眞犯人なる事を遂一自白し『寮友』が洗面、食事或は風呂等に行き留守中をねらつて拔取をなしてゐたとの事で、現在迄判明した被害は主として敷島寮内の犯行で二十二件の多數に及び、其の被害額實に二千余圓に達してゐる、盗品は全部入質して毎日カフェーで豪遊を極めてゐた、二十一日も錦織の百三十圓を窃取すると共に市内料亭美人樓、大和組等に二日間登樓して居り、毎日出動を裝つてはかくの如く轉々として遊び廻つてゐたもので、未だ〲餘罪ある見込で取調中であるが、數日に亘る血の出る樣な刑事連の活動は此處に酬ひられ近來稀な大捕物と一同ホク〱してゐる

全滿婦人聯合會の歌

婦人は婦人の立場から滿洲國のために働こう世界平和は婦人からと先づ滿蒙婦人が手に手を取ろうと全滿婦人團体の聯合會が産れて來たがこの程左の如き聯合會の歌を作つて先日の聯合婦人大會で聲高らかに合唱し勇ましく立ち上つた今後婦人會の活動はめざましきものがあろう

一、明けゆく空の日をおいて 野に群あそぶ牛あり 勇み耕す農夫あり こゝ滿蒙の天地の 曇りはやがてぬぐはれぬ

二、新に立ちし國にこそ 正しきのりにしたがひて 共に手を取り榮へ行く 明るき人の道のへに われは立たんねがひなり

三、女性のかひな弱くとも 響き義さに勇む子の 幼き夢を守りきし 愛と誠の母の道 吾等は住かん覺悟に

四、望みとかけし若者よ 捧げて忍ぶ母人の 命にかけて永久の 平和の國のいしずへを 備へんことを誇るなん

五、そのいしずへの隅石の 一つとならん願ひまで 吾ら全滿婦人達 心を協せよりそひて 誓を立てゝ手をとりて

六、生氣も凍る北滿の 野に一筋の道はあり 愛の枝もて辿りゆく われ等の行途遠けれど 彼方に望む光明あり

兵士ホームの歌

一、南滿の曠野に 人の誠うるはし 眺め見よ野の果 兵士ホームの窓邊 睦みあへむさしく 吾等みな同胞

二、黄塵の彼方 いさぎよきは人の美 空の藍一色 兵士ホームの窓邊 睦みあへひさしく 吾らみなはらから

三、楡の葉かげに 和くなぞへの幸 親しきは結ぶ手 兵士ホーム 窓邊 睦みあへひさしく 吾等みなはらから

天理教布教師？ 旅費の無心

天理教の布教師であるとイーシチキ名刺を振り撒き滿洲各地を點々として歩くルンペン坂井巖(五八)は古ぼけた着物に相撲まげを結つた、けつたいな姿を廿四日新京署に現し歸國の旅費の惠與方を保安係へ懇願中些細の事から本性を現し係員に食つてかゝり署内に響き渡るばんばん聲をはりあげるので係員から突き出され旅費の惠與もオヂャンで勞働保護會へはこんで行つた

お芝居の巻

ボクアタ坊 (お芝居の巻) (一朗作)

アタ坊ヤ コドモノ オシバイヲ スルノダガ ヤッテミルカイ

坊ヤハ ヨイオヂイサンノ ヤクダヨ ヨク ワカッテ イルカネ

舌切雀

オヤ マア ヨクコソ オヂイサン サアサア

スズメノ オヤドハ ドコカイナ シタキリスズメ……

鄧文、劉震東の司令部を爆擊
道路は避難者で充滿 二十三日は檀自新司令部も

先般來日を逐ふて行動が活發となつて來た開魯附近の匪軍の氣勢をそぐ爲二十二日午後〇時四十分より我飛行機は約一時間開魯城内にある鄧文劉震東の司令部に對し爆擊を實施し多大の損害をあたへた機上より觀測するに城内の道路は避難の車馬を以て充され魯より東北方に並ずる道路は車輛を有する退却中の軍で混雜を來してゐる二十三日も引續き城内の檀自新の司令部を爆擊した

高射砲二千 南京へ到着

南京政府はさきに獨逸と高射砲二千門の購入契約をしたが最近第一回として七百台が寧波に到着したので陸上を杭州を經て陸路南京輸送をした、斯の如く不便の經絡をとつたのは秘密保持の爲であると云はれてゐる

匪首李青天 小賊に殺さる 拉林一帶に蟠居の賊

拉林一帶に蟠居して一度は双城を脅ふた事もある李青天匪は矢欄早の日滿軍討伐に遭つて部下の多くは四散したので數日前殘つた少數の手兵を五常で解散し東寧の王德林が敗退して露領に逃げたのも知らず王の許に行くべく單身東部線に沿ふて馬車を走らしてゐる所を高嶺子驛の東方で十數人の小匪賊に襲はれ金品を強奪された上李と從者二人共其場で殺害された事が判明した

段祺瑞 上海で語る

【上海廿四日發國通】段祺瑞は今朝八時五分着列車で來滬午後鐵道部長以下要人多數の出迎へを受け佛租界の世界學界に向つた段は語る

今度の來滬は當地に居る娘に會ふ爲だ、ここから或は杭州普陀山に行くかも知れぬ、自分も國事を心配するに於て人後に落ちるものではない

蔣介石の奸策

【天津廿三日發國通】今回河南省方面の雜色軍が秦皇島、灤河方面の前線に集中されたる事實に關し蔣介石側では右は若し日本軍との間に衝突起りたる時日本軍によつて雜色軍を掃滅してもらひ、自ら勞せずして目的を達する爲であると稱して居る

一方雜色軍側では其の内情は承知せるも軍費彈藥を支給されたる上は前線に行かざるを得ない立場に在ると云つてゐる

堺利彦老 腦溢血で逝去
左翼陣今や秋風落莫の兆 日本最初の社會葬か

【東京廿三日發國通】社會主義運動の元老堺利彦氏は一昨年十一月腦溢血を病ひ療養中であつたが廿三日午前十時二十分麹町八丁目の自宅で梅子夫人、眞柄孃、荒畑寒村氏等に取りまかれ遂に六十四歳の生涯を終つた葬儀は宗教的儀式を超越した社會葬を行はうと寄々協議中である

山海關 戰鬪の忠勇美談(日)

一月三日山海關西方三粁孟家庄南方に於て所屬小隊は數百の敵と遭遇し午後二時以後彼我の力戰は極度に達し戰鬪慘烈を極めた

吉田軍曹は午後二時部下の吉田上等兵重傷の際、之を援絕さんとして忽ち頸部に貫銃創を受け鮮血淋漓たり、然れども苦痛を現はさず、繃帶する者に向ひ「先づ吉田上等兵に繃帶して與れ」と叫び、自ら釦を外して他の兵と共に繃帶し傍に休憩せしが其狀何等平常と異ならず、小隊長は負傷の狀況を問ひしに「なあに大した事はありません」と答へ、小隊長も亦輕傷だらうと大いに安心してゐた、然し負傷部の關係上吉田軍曹に對し單獨後退を勸めた、軍曹は戰況悲慘なる時自ら後退するは部下の志氣上不可なるを太く案じたる爲、小隊長及部下を戰線に殘して後退するを肯んぜず、依然として分隊の兵を鼓舞してゐた、小隊長は遂に「吉田軍曹は只今より單獨後方に下り旅團司令部に至り戰況を報告し死傷者の收容を要請すべし」と命じた、此に於て軍曹は止むを得ず右手に拳銃を握り、彈雨の中を徒歩して後退した、然るに軍曹は約一里離隔せる旅團司令部に至り詳細報告したるのみならず、自らは衞生班に至る事なく擔架二個を準備して再び戰線の後方に至り小隊長に復命し、他の戰友傷者と共に衞生班に收容せられた、其の豪膽にして責任觀念旺盛なる[illegible]は小隊長以下齊しく感激して止まなかつた

又金野軍曹は午後三時頃我が左翼を包圍せる敵に對し猛射中、敵の機關銃は忽ちにして軍曹の左足指に命中した、然れども些かも之に怯む事なく悠々として繃帶し、再び分隊を指揮して戰鬪終了後も衞生班に赴く事を欲せず小隊長は再三治療を受くべき事を勸めたるも「衞生班に行けば收容せらるゝ虞あり、下士官の減少は小隊の爲打擊なり」とて肯せず、遂に五日に至る迄苦痛を忍びて小隊と共に行動をした、小隊長は戰況概ね沈靜したるの故を以て一先づ錦州衞生班若くは聯隊醫務室に入るべきを諭し、五日午後に至り漸く後送するを得た、軍曹は歸還に當り「必ずすぐ小隊に歸つて來ます」と元氣よく別れを告げて立ち去つたのである

安東上等兵は金野軍曹の部下分隊内にあつたが、分隊長と殆んど同時に大腿部に貫通銃創を受け、起つ能はず、然も敵彈の飛來猛烈なりしを以て繃帶後附近の地物を利用して寢轉びたるまゝ尚も百餘發射擊して敵の近接を防害した上等兵は常に志氣頗る旺盛にして戰鬪後裝甲列車に收容せられた際も小隊長に向ひて曰く「小隊長殿安東は大丈夫御心配は要りませんが働けませんから後は賴みます」と其の壁牢生の如く元氣潑溂として周圍にありし負傷者も亦爲に志氣を百倍した

大久保上等兵は吉田軍曹と同時頃附近に於て兩手指及胸に擦過銃創を受け鮮血淋漓であつたが直ちに繃帶して何等の常と異る所なく、敵の狙擊下にありて死馬の鞍より毛布を取り來りて重傷の吉田一等兵に掛け、後退の際は再び危險を冒して死馬より鞍を引き來る等其の豪膽は小隊長以下をして感嘆せしめた、上等兵は戰鬪後も熱心事に從ひ或は下士哨長として夜間城壁の警戒に任ずる等克く堅忍不拔なる東北健兒の意氣を遺憾なく發揮した、一月五日胸部の傷稍化膿せるを以て再び手術せるに、彈丸の破片を摘出したが上等兵は依然勤務に服して變る所がなかつた

以上の四名は負傷するも豪も屈せず、戰鬪慘烈なるに當りて我が皇軍の志氣益々奮ふの實例にして我が皇軍無上の強みをこゝに發見し得る

朝陽寺警備隊の激戰 熱河の前哨戰

【錦州廿四日發國通】廿三日夜有力なる熱河部隊は我が朝陽寺警備部隊を襲擊し、同警備隊長以下奮戰約一時間にして敵を南嶺方面に敗退せしめたが敵は頗る勇敢なる部隊で附近には三つの死體と多數の手榴彈を遺棄してゐることより推して單なる兵匪とは見られず學良正規兵か或は湯玉麟らしく當地軍部では抗日熱河前哨戰として俄然緊張してゐる尚ほ山海關方面も依然險悪なる空氣が低迷してゐる

日本に似ねて 愛國機の建造計畫
廿三日から六日間を 航空救國記念週に決定す

支那の航空熱は近來高まつて來て上海市黨部は二十日午後商、工、政治、新聞會の要人を召集し二十三日から六日間を航空救國記念週と定め大々的に宣傳する事となり、蘇州無錫では早くも愛國機を獻納し日本の向ふを張る事となつた

亮兵台の列車事故 本日中に復舊

廿二日午後二時敦化東五十キロ亮兵台附近で敷設機と材料積み推進列車と衝突、滿鐵の無側車三輛大破、機關車四三二號のカプラー破損線路工夫三名負傷した復舊は本日中の豫定である

山海關西方で 日支兵小衝突 支那側民家を掠奪

【天津廿三日發國通】山海關方面では支那側其後斥候偵察を派して我軍の狀況を偵察しつゝあるが昨廿二日も、支那兵十數名山海關西方に現はれ民家を掠奪し、吾斥候と衝突交戰して敵は死体一個を遺棄して逃走した

匪軍秘藏の 五龍彈
稚氣また愛すべし

開魯にある匪軍が防空用に秘藏してゐる五龍彈は空中にて開く花火で光子と云ふのは花火の粒らしいなほ飛行機攻擊用の火矢と弓を多數準備してゐるのは上海事變の時防害面として煙草の空かんにけし炭を入れてゐたのと好一對である

滿洲國軍始めて 討匪第一線に立つ
熱河作戰への效果如何？

遼河柳域地方に於ける反滿分子並びに匪賊に對する討伐は廿三日より奉天省警備司令官于芷山の率ひる滿洲國軍によつて開始されたおは滿洲國成立後に於ける滿洲國軍隊の非常な進歩を明示したもので、此の討伐結果により今後の滿洲國にかける軍事行動に一大劃期的變化を齎すものではないかと見られてゐる即ち從來滿洲國軍は日本軍と共に滿洲國の治安維持に當るに際し、訓練其他の點に於て從屬的立場にあつたのであるが、逐次の日本軍との共同作戰の結果非常に改革され今回始めて第一線に主力となつて活動するに至つた從つて今回の滿洲國軍の討伐は全く今後に於ける滿洲國軍の試金石であり、此の結果が熱河作戰に如何なる效果成績をもたらすか多大の興味をもつて見られて居る

馮占海匪も 飛行場を構築

【奉天二十三日發國通】熱河下窪にある馮占海軍は我が飛行機の襲來を極度に恐れてゐるが之が對抗策として學良援助の下に下窪の南方約十支里大店子附近の平坦地を飛行場とし目下盛に工事中である

次に來るもの 新京麻雀大會
予告前既に申込み殺到す 團体競技も行はる

本社の讀者慰安二大催しとして新春劈頭紙上で發表した新春圍碁大會と麻雀大會圍碁大會は屢報の如く非常な人氣と好評を博し盛會裡に去る二十二日『終る』したが、第二の催したる麻雀大會は愈々來る二十八日二十九日の兩日開催することに決定した今や麻雀競技は大衆的娯樂として家庭に普及され、奥樣もボッチャンもお孃樣もさては女中も恐らく社交場裡に出入する人なら誰知らぬものもないまでに普及されて本社がこの催しを一度紙上で豫報するや各方面からの問合せ殺到圍碁に比し遙かに大衆的遊戲であるだけに圍碁以上の氣を呼んで居る、發表前中既に多數の申込みある位で愈々本催しが發表された曉は各方面の申込が殺到することであらう、なほこの催しは個人競技と併せて團體競技をも行ふから團体申込みをも歡迎する、而して『婦人』の競技參加開會も二三あるが之亦大いに參加を歡迎する詳細は本紙二十五日夕刊社告を一覽の上續々申込まれたい申込電話は本社三三〇〇番である

寫眞機泥棒 捕はる

新京署司法係後藤刑事は二十四日早朝から三十歳前後の一邦人の取調を行つてゐるが右は本籍大阪市港區九條南通一丁目住所不定無職松岡政和(三三)で松岡は二十二日大連を經て來京大和通大和館に投宿中、二十三日午前十一時頃吉野町二丁目乾寫眞舘販賣部陳列棚から寫眞機一個時價百二十圓を窃取、木村洋行でサツクを購入中後藤刑事に逮捕されたもので餘罪ある見込で取調中

商業實業團 メンバー決定

明治大學對新京商業並に新京實業團チームのアイスホッケー、スピードの試合は二十五日正午からスピード同午後一時より西公園リンクで華々しく開始することになつた新京商業並に實業チームメンバ左の如くである

新京實業チーム
御崎 忠置 西村清太郎 堀切 榮熊 池尻 讓 飯澤 純一 瀧尾 卓次 高橋 忠 君田

新京商業チーム
幅元 清 佐々木李一 麻生 繁雄 山村 光雄 飯田 脩一 吉松 常滿 北川 裕 外岡 鑑一 丹澤 幸一 以上ホッケー

スピード
五百米 吉林 留治 大川 博
千五百米 李 慶全 御奴秋次郎
五千米 朴 洞哲
二千米リレー 伊藤 行也 朴 洞哲 伊藤 哲 李 慶全 大川 博 小野 鐵男 吉村 留治

淸水三段 整復と電氣治療

明治四十年頃から長春に在住し長春の草分けとして又永い間長春警察署の柔道師範として名を知られてゐる淸水淸吉氏柔道三段は其後電療學院で電療を學び今度新京入船町二丁目七番地へ淸水整骨院を開設し柔道整復術並に電氣治療を開始し一般の治療に應ずることゝなつた

橫山代議士逝去

【名古屋廿四日發國通】愛知縣第一區選出代議士橫山一格氏は腸窒扶斯で名古屋醫大に入院中、廿三日午後四時十五分腸出血で逝去した享年五十四歳

吉凶禍福

二十四日屆出

出生

△平安町二丁目滿鐵社宅、阿部常就長男宏一月十七日午後八時五十分出産

死亡

△新京八島通二十四番地近藤きわ安政五年生れ一月二十一日午後五時五十分死亡

△羽衣町三丁目十八ノ二號、龜田和平次女美穂子二歳一月廿二日午後七時十分死亡

前大毎專務取締 高木氏逝去

【東京二十三日發國通】大毎專務取締役高木氏は腦溢血で阪急沿線本山村の自邸で二十三日午前零時逝去した、享年六十三

ラジオ欄

二十五日(水)

奉天后五、〇〇レコード 錢行金銀相場 商業通信

新京后五、二〇演藝

新京后五、四〇講演建國一週年紀念大會に就て 外交部宣化司 姚任

東京后六、〇〇ニュース 東京中央放送局編輯

新京后六、二〇時事解説滿洲語氣象報及(滿洲語)ニュース

新京后七、〇〇お話と合唱鶏ノ歌 滿洲國特別市兒童團員

新京后七、三〇ニュース(英語) 新春ノ喜榮殿中

新京后七、四五ニュース(露西亞語)

新京后八、〇〇ニュース(朝鮮語)

新京后八、一五ニュース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告

東京后八、三〇時報

東京后八、三一ニュース 東京中央放送局編輯

天氣豫報

明日の天氣西の風晴、本日の氣温最高二二、九最低二四、一

凄艶紅涙刄（一八八）

（頭上談）鈴木彦次郎作
飛鳥久緒畫

「わアッ！」
歡呼の聲を上げた騎兵隊、隊長の指揮に一糸亂れず、足音もひそめて、朝露を踏み、霧に隠れて、ひた、ひたさ、敵營間近かに、詰め寄せた。
それとも知らず、長岡勢、朝風に、寝起きの顔をなぶらせながら
薩摩長州なまないたにのせて大根切るよにチョキ〳〵さ。
などさ、例の唄を口ずさんでは砲の手入れにかかつてゐた矢先へ忽然、朝霧を破つて現はれた長藩名題の奇兵隊
ドドドドドドドドツ！
銃先そろへて、打ち出す彈丸もろとも、火煙のうちから、ごつさおめいて、攻め寄せたからたまらない。
不意をくらつて一時は、右往左往にふためいたが
「何糞ぢや！これしきの敵に恐れて、たぢろいでは、長岡藩の名折れぢやぞ」
「とどまれ、食ひ止めよ！」
川島、大川、安田の諸將、聲を限りに、勵ませばそこは、多年訓練の行き届いた精兵、必死の勇を奮つて防戰にかかる
中にも、大川の率ひる拔刀隊敵は間近しさ知つて、劍豪一條甲子松を先頭に、面もふらず、敵中に、斬り込まふさしたが、折も折さて、霧が深くたちこめ、目先にうごめく人影すら、敵か味方か判然せぬ齒がゆさ！
おまけに、奇襲にたけた奇兵隊の面々、わざさ背を長岡勢に向け空砲を味方に發射しながら、ぢりぢり攻め寄せるので、さすがの拔刀隊も、同志討ちを恐れて、進み兼ねてゐるところへ驅け付けて來た桑名藩の名將立見鑑三郎。
さつさの機轉で、大音聲。
「味方の勝ちだ！かゝれ〳〵すでに敵兵正隊名々討取つて
逃げる奴らを追ひつめて一人のこらず討取つてしまへ！」
麓までも、響けよさ、叫べば敵は思はず氣勢をくぢかれ、やや、浮足立に、反して長岡勢は俄然、勢力を盛返し、一條甲子松のごさき、獅子奮迅の勢ひをもつて、敵の眞只中に飛び込みさま、得意の殺劍物すごく、たちまち、六七名を斬つて捨てたをきつかけに拔刀隊の面々、無二無三に突進した！
霧ふ、次第に、薄らぎ初めた堡壘からは、一齊に、射撃が始されに。
かうなるさ、形勢逆轉！
足場は惡い、兵は少し。――
奇兵隊は、刻々不利に陥るばかり。
このたい勢に憤激した隊長時山直八やをら、左手に隊旗をひるがへし右手に劍をふるつて、勵聲一番。
「進め！進めッ！一歩も退いては、光輝ある奇兵隊の恥だぞ！」
さ、絶叫しながら、自ら、隊の先頭に立ち、部下を勵まし勵まし猛然、敵中へ躍り入つた。
その意氣に感奮した隊士
「ソレ、隊長を見殺しにするなッ！」
さばかり、いづれも、死を決して、猪突した。
だが、勝に乘つた大川拔刀隊何で、これしきに、たぢろぐべき
砲煙彈雨のうち、忽ち、壯烈な白兵戰が行はれた。
互に、力戰死鬪！中にも、時山隊長は朝風にはためく隊旗をふりかざし、群がる敵を斬り棄て、追ひのけ、早くも保壘間近に迫つて、つゞく味方を、激勵してゐた折から。
「やい、南部の浪士、晁合雄馬はをらぬか、一條甲子松だぞ出合へ、出合へ！」

大正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價 一箇月金一圓五十錢 郵稅 一箇月金八十錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話二三〇〇番・三二三三番
發行人 十河栄忠 編輯人 松本男 印刷人 谷啓二郎

我が海軍で第二次の補充計畫
三四年の繼續事業として

〔東京廿四日發國通〕大角海相は昨日下院で內田信也の質疑に答へロンドン條約による廢艦補充の爲め第二次補充計畫あるを言明したが、內容は左の通りと察知されて居る

一、艦艇製造費三億六千萬圓三年乃至四年繼續事業として總經費四億六千萬圓內譯
航空母艦八千噸級一隻輕巡洋艦八千五百噸級二隻、驅逐艦一千四百噸七隻、潜水艦大小型六隻、敷設艦五千噸級一隻、其の他掃海艇水雷艇若干

一、航空隊增設費一億圓、航空隊五隊を增設する

右計畫中初年度分經費四千三百八十五萬圓程度は大藏當局が認める爲め切離した

建國記念に植林の計畫

滿洲國建國一週年を迎へるに當り滿洲國では記念事業として植林の具体案を作製中で、協和會に於ても記念植樹について研究中で、植林では滿洲の權威者である元鴨綠江採木公司の參事大津嶬氏は植林の宣傳標語を協和會中央事務局に送つて來た

植林標語
滿洲國卑つて植林
高い山より青い山
青い山には黃金の花が咲く
茂る山に成る黃金
植へぬ山には惠みなし
榮へる村に禿山なし
植林は貯金濫伐は破產
漲水は禿山より
治山者致產
金のなる木を植へましよう
伸る梢に上る國運

協和會館寄附金日本より續々集まる

滿洲國建國一週年記念事業として日滿協和會館を建設することになり、發起人滿洲國協和會常任理事保々氏は目下東京に於て寄附金募集中であるが、さきに協和會より紹送した協和會建設趣旨書に依り左記の如く寄附金の申込みがあつた

大阪市　瀧川伊之吉氏
同　山岡孫吉氏
同　金谷久米吉氏
同　石井龜太郎氏

發送貨物

二十三日の新京驛發送貨物左の如し

區分	品目	數量
△新京	大豆	一、二九〇
	高粱	三〇〇
	豆粕	二七四
	雜穀	五一二
	木材	二八
	其他	一三
	計	二、五一六
△中東連絡	大豆	一、〇八〇
	豆粕	一八四
	雜穀	五四
	其他	五
	計	一、三二三
△吉長連絡	大豆	三、四八〇
	雜穀	四六
	其他	一一三
	計	三、六二九
	總計	七、四七八

新京木材組合定時總會

新京木材組合では來る二十七日新京商工會議所內に於て定時總會を開催することゝなつた、從來同組合は殆んど有名無實で仕事らしい仕事を爲した事なく經過して來たが、本年よりは新京の異常の發展さ共に木材界も劃期的發展を期待されてゐるので今回の總會に於ては組合としても久しい間の情眠を破つて今後の木材界に善處すべく之れが對策に就て協議されるであらう

中央銀行平均高

自一月六日
至一月十二日

發行高	一五一、八八二、二四四・五七
準備	九八、五六一、六三七・三五
保證	七三、三二〇、六〇七・二二

滿洲國領事館神戶に開設決定

〔奉天廿四日發國通〕滿洲國は神戶に領事館開設に決し目下調査中

十二月中の新京財界概況(上)
新京商工會議所調査

一、金融市況

駸來遲延たりし本年の寒氣も十二月に入り本格的となり各河川完全に氷結して、特產の出廻り激增せると年末用品の賣行旺盛を豫想しての仕入資金にて、金融界は掉尾繁忙を呈したるが、輸入資金として動きは大量の貿易品なく、主として地元の少量品なる爲め、多忙なる割に金額は上らざるも組合銀行月末の帳尻は金勘定預金二九、三〇〇、〇〇〇圓、貸金九、六〇〇、〇〇〇圓、銀勘定預金一四、六四〇、〇〇〇圓、貸金一、五五九、〇〇〇圓にして前月末との比較は金貸金が三六九、〇〇〇圓の減少を示せるのみにして金預金は二一、七三七、〇〇〇圓、銀預金四、四〇四、〇〇〇圓、貸金九八四、〇〇〇圓の激增を來して居る、殊に金預金の大激增は郵便貯金利子の貸下に依り、此の方面に在りし預金が銀行方面に轉換さるるの傾向顯著なるものありしこと其の原因と見らる

新京組合銀行諸預金貸出表

諸預金之部

種別	金勘定 十二月	金勘定 十一月	銀勘定 十二月	銀勘定 十一月
定期預金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
當座預金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
特別當座預金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
通知預金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他預金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
公金預金	[illegible]	[illegible]	—	—
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

諸貸金之部

種別	金勘定 十二月	金勘定 十一月	銀勘定 十二月	銀勘定 十一月
貸付金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
當座貸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
割引手形	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
荷爲替貸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
預託金	—	—	—	—
其他	—	—	—	—
手形貸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

錢鈔及特產現物平均相場表(十二月中)

高低別	鈔票對金票	現大洋錢對金票	現大洋票對金票	現大洋錢對鈔票	大豆	高粱
最高	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
最低	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

二、商品市況

大豆、取引所におけける先物商內は、當限十三圓六十錢にて手仕舞物一車の手合ありしのみ、現物相場にありては、歐洲筋の買長に十三圓七十錢と小堅く現はれ、十錢方上伸びたるも買氣一服と共に下押し、下旬末は十三圓四十錢迄低落、中旬に入りては大連の買進みにて十四圓ドタ急騰、年末には再び低落して十三圓七、八十錢處に保合、平凡程に越年せり、新京驛の發送數量は二八、三二〇噸にして前月より二萬余キロの增加にして取引出來高、相場其他を前年同月に比較すれば次の如くである

種別	本年十二月	前年十二月
取引品現物出來高	—	—
同先物出來高	—	—
新京驛發送數量	八〇五車 一車 二八、三二〇噸	三〇一車 六〇車 二一、四三〇噸
現物平均相場(鈔票建)	[illegible]	十圓九十四錢

變幻黑船往來

禁轉載上映及上演
(作) 寺島柾史
(畫) 布施長春

第九回 根岸の宿 (一)

また、机の上には、オランダみやげとおぼしいゼンマイ仕かけの置時計やギヤマンの水瓶などが置かれ、蘭學の書物の入つてゐる書棚のうへに、地球儀が何かを暗示するやうに載つてゐる。

そんな、眼新しい室內裝飾品や調度品に取圍まれながら、白軒は身動きもしず書見してゐる。ほかに召使も置かず、やもめぐらしであるから、茶寮風な根岸の彼の家は午日中森閑としてゐる。

白軒はいま、ちかごろ板になつた晩晴翁の「發政堂雜錄」といふ書物に眼を通してゐる。

その中の一章、フラスコの字義といふところ

「フラスコ」は不落子と書くべき、清料餘云、不落酒器也。樂天盌詩、銀花不落從君勸滿王家有水晶不落一雙。

しかれば不落は酒器なり。强て硝子の酒器には限るまじく覺ゆ

これを讀み終つた白軒はおもはずカラ〳〵と笑つた。

——ふゝ、これはいさゝか牽強ものぢやわい。相當に西洋の研究された新井白石先生すらが時折は一笑を禁じ得ぬ說を吐かれるのだから、一知半解の晩晴翁ごときがこんな戯にもつかぬ書物を上梓するのは、むしろ當然だらう。へゝへ。

もう一度彼は大きく笑つた。

と、そのとき彼の笑ひの隙をうかがつて忍び込んだひとりの女、これもまた誘はれて笑ひを含み、白軒の肩先へ白い柔かな兩手をそつと置いた。

女は浮世繪師の山村紫園、かすかな吐息が白軒の肩を流れる總髮に觸れる。

『……』

白軒は書物から眼をそらした、そして微笑みながら見おろしてゐる女を、これもほゝ笑む眼で見上げた。

『なにが可笑しいの？』

『可笑しいのさ、日本の學者の物しりの程度が……』

『てうど、あなた自身のやうにね』

『ほう、これは手嚴しい』

紫園は、机の横にべつたり坐つた。

『ねえ、先生』

氣のない返事。

『けふは、病人廻りにお[illegible]？』

『あゝ、どんたくさ。飽々だ。……それに、もう殺生をよさうとおもふ』

白軒は、低聲で答へる。

『そりアね。あなたさへよす氣なら、あたしだつて夜更からの出あるきはもうごめんを蒙りたいわ。また、いつぞやみたいに危ない目にあふと大變だからねえ』

紫園がおさまつてゐるときの紫園の態度物腰が、白軒の家へくるとがらりと變つてしまふ。いや態度物腰のみではなく、その容貌までが、時と所によつて幾分化る。

佚つぽさも、初心な生娘のやうな物腰でも……それが意識せずに表現される女だつた。

『それに、近頃……』

と、彼女はちよつと[illegible]あたりに氣を配つて

『近頃、あたしの家のあたりを、怪しい男がうろつくやうになつたので、氣がとがめて[illegible]』

『……』

『うむ、手が廻つたかな』

『どうも、さうらしいのだよ。錢屋が家の樣子をうかがつたり……それからやら、いつぞやの男らしいので、つく〴〵厭になつちまふ』

『さうか。今が見切りどきかな。ぢや、けふ限りでよすとしようか』白軒は自嘲的に笑つてみせたが、こゝろの苦惱はあつた。

『それがいゝと思ふわ。いつ迄も慾深になつても限がないから、この邊で足を洗ふとしませうよ』

聯盟は最早や平和機關に非ず

第四項適用の對策を滿洲國政府考究中

聯盟が規約第十五條第四項を日支問題に適用し極東の危機を益々世界的危機へと擴延せしめつゝある事實に鑑み當面せる現實の問題地帶たる滿洲に於ては別項の如き見解のもとに敢然對抗すべく決意を固め第四項に基く勸告書原案起草に於て其の内容が苟くも滿洲國の獨立を無視するが如き意味を記載せる時は斷乎排擊し、個々現實の問題によつて此れに應ずべく具体的方策を考究中である、その要旨は左の如くである

聯盟が今回新たに取りたる新手段は明らかに聯盟外交の失敗であり聯盟は何時かは來るべき解消の時期を早めたるものであると更に重大な一事は聯盟は現實に起れる世界的危機とも言ふべき東洋の實際問題を法規に基き此れに拘束された聯盟機關の維持の爲重大政治的問題を葬り去らんとしつゝある事で此れは聯盟が所謂聯盟屋の爲に支配され最早世界平和の爲め機關で無い事を實證したものである

處に改めて問題を再考し新しき方策を講せねばならないこれには支那の覺醒と日、滿、支の協調より他に道かないのである

米との協調で

英、佛が對日急旋回

聯盟の空氣硬化せん

〔ジユネーヴ廿四日發國通〕十九ケ國委員會が第三項、第四項と二股かけてゐる態度について今後如何に出づるかは消息通も容易に斷定出來ぬ模樣だが、何れにせよ對日態度が急惡化せるは聯盟の双璧たる英佛の急旋回と信ぜられてゐる、その理由は信ずべきフランス筋の情報によると十三十四兩日にアメリカの駐英大使と駐佛大使が我が主張に關して或種の意志表示をアメリカと英佛それぞれとの特殊關係に結びつける協調の爲めでその結果右兩國は一大決心をなし急旋回した以上日本の聯盟脫退の如きは或程度まで止むを得ぬとし居るところなるべく從つて第四項による勸告は強硬なものになるだらうと信ぜられてゐる

第四項適用に對する滿洲國政府見解

聯盟が新手段に基き滿洲問題をより惡化せしめつゝあることは別項の如くであるがこれに對する滿洲國政府の見解は左の如きもので聯盟か反省せずば東洋は改めて問題を再考する必要があると言つてゐる

一、聯盟は此の重大なる東洋問題の討議に當り期日的の拘束は受けて居ない筈である、眞の聯盟機構の目的は提出されたる事件を裁判するに非ずして調停するにある、現に世界が直面しつゝある如何なる危機を誘發するや見究めつかぬ重要なる東洋問題に關し輕卒に處理せんとするは再び世界的危機を挑發するもので聯盟今回の處置は明ちかに世界の政情不安を目的とするものである若しそれでなければ白黄兩人種の闘爭渦を誘發する行爲としか解されぬ聯盟は此の際再び靜觀反省に歸るべきである

一、聯盟は世界のあらゆる事件に對し此れを解決しやうとする形式と法理論のみによる法律家であつてはならぬ、あくまで和協調停をなす實際的政治家でなければならぬ、此處に再考の餘地があると思ふ

一、世界は平和を愛好する上に於て聯盟に對し十分なる時間的猶餘を與へて居る、然るに和協を放棄した聯盟は再び新手段を執つた聯盟は所謂聯盟屋のため支配され僅かに歐洲聯盟としての存在を望み東洋世界人類の重大問題を放棄したもので此處に聯盟の根本的誤りが存在するのである

一、聯盟が執つた處置は聯盟に於ける責任で若し聯盟かあくまで此の儘進むなら東洋は此

滿洲治安恢復實狀を代表部から提出

〔ジユネーヴ廿四日發國通〕日本代表部は滿洲問題の治安進捗に關する通牒を聯盟事務局に提出し、北滿南滿各地に於ける匪賊討伐事業の結果、滿洲の治安は著しく恢復するに至つた旨を通告したので、事務局は二十三日之を公表した

聯盟脫退と財界

〔東京廿四日發國通〕聯盟脫退後の財界影響は重視されて居るが直ちに影響は蒙るまいが、其の後に生ずる國際關係を憂慮し財界方面では政府並びに國民の自重を希望して居り各有力者が、機會ある毎に政界軍部の有力者に忌憚なき意見を進言して居る

貴族院の質問陣

〔東京廿四日發國通〕貴族院は午前十時開會され紀男爵登壇して財政、教育、人道問題に關し質問し齋藤首相、山本内相、高橋藏相、鳩山文相等が夫々答辯す、水野甚次郎氏は國防及び出版物取締に關し質問の豫定

滿洲國辭令

二十四日鄭國務總理の副署を得左の發令を見た

特任　田邊治通

辭令

爲參議府參議此令

政友會の質問陣

〔東京二十四日發國通〕政友會では正午院内幹部會を開き對議會策を協議するが大体本會議の質問は東武氏木暮武太夫氏、田子一民氏の三氏で打切つて廿五日から豫算總會に全力を注ぎ若宮貞夫氏國政一般を、太田政弘氏に財政經濟の質問をさせる豫定

藏相と農相政治解決

農村負債整理案

〔東京二十四日發國通〕時局匡救策として農村負債整理案が今議會に提案されることゝなるので、大藏省では昨日午後七時省議の結果農林省案の三億圓低資融通と六千萬圓の國家保證は現在の國家の狀態では不可能と意見一致し、その決定を延期し結局高橋藏相と後藤農相の政治的解決に待つ他はなく一體の資金は先づ府縣で地方債を以つて賄なひその後はじめて國家保證と言ふことになる模樣である

張學良すでに北平脫出を覺悟

家族は天津英租界に

〔北平廿四日發國通〕張學良は遂に北平逃げ出しの已む無きを覺悟したるらしく過般の直系將領會議の席上既に北平脫出の決意を示し、更に廿五日午後六時順承王府に近親者及び高級文武官を招き、山海關陷落の現在に於ては平津地方の安全を保持し難きを以て家族は一先ず天津佛租界に避難せしめ、今後若し戰利あらざれば自分は米國に赴く豫定なりと言明したと、尚ほ學良夫人は山海關事件直後早くも多數の近侍者を從へ、家財、貴重品を取纏め北平を脫出し天津英租界にかくれたと

閻錫山が再び北平を窺ふ

北方雜色軍聯合し學良驅逐の密約成る

〔北平二十四日發國通〕張學良の再起不可能を傳へらるる折柄一方熱河省境、山海關一帶に雲集せる北方雜色軍商震、宋哲元、龐炳勳、高桂滋、沈克をはじめ北上の途にある孫殿英などの間に既に密約成立し『學良』を追出し、代つて北支の軍權、政權を壟斷せんとする空氣漸次濃厚となりつゝあり。中央との名目を建てる爲めには蔣介石と特殊關係ある舊山西系の商震を仲介に閻錫山乃至馮玉祥を擔ぎ河北の王座に乘り込まんとの噂が專ら傳へられる。而して蔣介石も山海關事件直後閻錫山の下に數回密使を派し、中央政府は山海關に鑑みて熱河に於ける日支兩軍の衝突時期切迫せるものと豫想するも、學良誠意なく勝算の見込み全く無し、故に日本軍の進擊を機會に河北に於ける學良の地位を再び其後任として閻錫山を聘し同地方に進出せしめ閻も是を受諾して以來密かに出兵準備をもらしつゝあり、現に太原兵工場に於ても盛んに兵器彈藥ゃ軍需品の『製造』を急ぎつゝあり、之が爲めに昨今太原を中心に流言紛々として行はれてゐる、事前に計畫の暴露を怖れ閻錫山は一昨日（二十二日）全省に流言禁止の虐殺令をさえ出し嚴重警戒をすると共に着々燕京進出の機を窺ひつゝあるといふ

惑星馮玉祥動き始む

〔北平廿四日發國通〕久しく張家口に姿を隱しつゝあつた馮玉祥は平津の風雲只ならずと見てとるや、逸早く某外國より軍需品の購入をなし兵力の充實を計りつゝあつたが平津に在る西北系舊部中孫殿英と宋哲元、龐炳勳、高桂滋等との連絡漸くついたので取り敢へず之等將領に對し軍需品の補給をなしつゝあり、一方閻錫山起用に關して對馮關係の好調を期する爲蔣介石は數日前、中央委員王法勤を北平に派し馮と往復しつゝあつたが、王は二十七日頃張家口に赴き馮と重大相談をなす事となつた

抗日聯軍部署定まり密偵の活躍旺ん

—緊張せる山海關—

〔山海關廿四日發國通〕支那軍の移動も一段落し抗日聯合軍の各部署定まり抗日戰闘の準備成り城内には多數の密偵を潛入せしめ我軍の動靜を偵察せしめてゐる支那軍の夜間連絡は有線、無線の外螢光信號を以て本線第二線、第一線の連絡を圓滑ならしめてゐるが、此の螢光信號は第一線より石河を渉り西門北門に近く沿ひ東關迄潛んでこれら密偵と連絡してゐるものゝ如く、角山寺の我展望車では毎夜の如く此の螢光信號を監視してゐる尚石河對岸の第一線では食糧缺乏の爲婦女子老人を利用して山海關より食糧を搬出してゐるとの噂あり、爲に軍當局では關門の檢察を嚴にし夜間の集合通行を禁じ警戒を嚴にしてゐる

王德林軍解消

〔奉天廿四日發國通〕間島の朝鮮派遣隊より出動した大谷部隊は三十一日土門子に入り同地で新に歸順した王玉振軍と合して二十三日東寧方面から敗退して潛入せんとした、王德林の殘黨四百を包圍して武裝解除した、これで老黑山一帶に敗退せるその部下は全部解消した譯である

天好匪四散

稻村部隊奇襲

〔奉天廿四日發國通〕盤石の東南牛心頂子附近に滯在する百餘の匪賊に對し我〇〇聯隊の稻村部隊は二十二日夜これを奇襲し、頭目天好以下十九名を射殺し殘匪を四散せしめた我軍に一の死傷なし

撫順附近に匪賊現はる

〔奉天廿四日發國通〕去る十九日瀋海線撫順驛附近に午後十一時二十五分頃十數名の匪賊が現はれ、我警備隊員に發砲したので直ちに應戰して擊退したが、損害なし

滿洲國各機關舊正で休み

明後一月廿六日は丁卯舊曆一月一日に當るので、滿洲國政府各官廳は舊曆十二月卅日即ち明廿五日より一月五日陽曆一月卅日迄六日間舊正休みをなす事になつた

建國精神曉知を

鄭總理各總長訓令

鄭國務總理は二十四日付けで各部總長並に興安總署長に對し左の如く訓令を發した

訓令のことを爲す查するに我が滿洲國三千萬民の總意をもつ建國伊れ始め王道を修明し禮敎を振興する既に玆に一年日に就き月に將むの迹、すこぶる實政の彰はること、いへども創業締構の感深し衆心の一つに待つものあり玆に三月一日建國の精神を曉知せしめ翕然として、その自覺に與らしたることを尤も節要となす、仰ぎ各部總長興安總署長心を盡し法を設け一律遵辦もつてこの主旨に符せんことを誠に厚望あり此に令す

大同二年一月二十四日

舊正月に際し

謝總長支那に敎ゆ

滿支の血族關係と聯盟及び列强の肚黑を痛論

二十四日外交部總長は次の如き非公式ステートメントを中華民國政府に宛て打電した

此由來深き舊新年の佳新に當り滿洲國民は中華民國に祝詞を呈し更に此期を利用して熱河省民を除く全滿洲國民が今や『完全』にや、もすれば滿洲國の永久的害毒であつた兇惡な匪賊又はどん慾あくなき軍閥の惡政より解脫し大なる希望を持つて平和と繁榮の新時代を待望しつゝある事を報道したい又滿洲國民はアジア民族の眞の同胞主義の確立に向ひ邁進して進まんとする決意ある事をも傳へたい、この佳節に臨み我々は新に兩國間の血族關係を『想起』し、從て兩國間に於ても又國民相互間に於ても平和を希望せざるを得ない、故に民國の軍閥今や滿洲國領土たる熱河省内に於て擾亂を惹起せんと企圖しつゝあるは我々の深く遺憾とする處である、過去一年以上に亘る列國の東洋問題に對する和解的努力は水泡に歸し國際聯盟は無智か否かは知らざるも徒にアジアの苦惱を永引かせ、その爲元來先天的にも環境上よりしても友好的なるべき東洋諸國間の『恨事』が增大せしめられるに至つた、歐洲に於ける一部の新聞は列強が日支兩國間の平和を阻害する事により兩國の強大化を防止せんとしつゝある點を論じ、理由として日支が平和裡に膨脹したる時西歐諸國のアジアに於ける經濟的勢力の優越地位の終末を告げるからである、各人種諸民族が和氣靄々たる中に『生業』を營みつゝある滿洲國の實狀は支那國民の本能と良心に訴へて和協的態度により難問題の解決に當らん事を希願ふものである、從來の例よりすれば外部よりの干渉は假へ誠實なる意圖を持つてゐても、むしろ有害であつた事が立證される故に中華民國の官民が國際聯盟若くは第三者に全々信賴し目下の係爭問題を有利に解決せんとするも何等の効力なく、又之がむしろ危險に導く事に目醒める事が『肝要』である、故に支那は覺醒し、自力を恃み以て對外的困難に於て圓滿なる諒解に達し、且つ國內問題については目下の全面的混亂から自らを救出すべきだと信ずる、なほ依然として和平に沒頭し天道に違背すれば世を阿修羅と化するのみならず遂には一握りの淨土すら見出し難くなるだらふ、外人共管のわざわひは今日に於て再現すべく其時は我滿洲國にても『自衛』の道はないのである、國を護るに徒に鎖國的政策を探るは遺憾である、深く兄弟に望む、この更新の際に於て隣國と親善し公平無和に誠をもつて交際する事は東亞前途の慶祝すべき事である

人事往來

▲榮中銀總裁、五十嵐理事、廿四日午後零時半ハルピンより飛行機で歸任

▲鷲尾中銀理事、廿五日午後四時半新京發二週間の豫定で東上

舊正に際し休刊

舊曆歲末年始に際し滿洲人工場員に給暇のため、二十六日夕刊、二十七日朝夕刊、二十八日附朝刊を臨時休刊致しますから御諒承を願ひます

滿洲國に於る航空事業に就て（上）

陸軍航空兵中佐　島田隆一

滿洲國は春の榮光に浴して將に蘇生らんとする若草の如きものであります。而も此の若草は未來永劫冬枯に遭ふことなく永久の生命と止むことなき成長力とを有する若草であります。希望に輝やいた滿洲國は建設の溌溂たる意氣が全土に漲つて居るのであります。私は此の新興滿洲國の首都新京からマイクロホンを通じて滿洲國の人々と同じ樣に滿洲國の生立に大なる關心を寄せて居らるる內地の皆樣に相見ゆるの機會を得ましたることを心から感謝するものであります。我が關東軍は「滿洲の建設は治安維持から」をモットーとして零下四十幾度と云ふ殺人的酷寒と闘ひ匪賊の討伐反滿勢力の驅逐に東奔西走して居るのであります。此の超人的努力は酬いられて今や熱河省を除く全滿洲國は殆ど完全に新政府の統治に服する樣になつたのであります此の治安維持に對する絕大なる努力と併行して他の方面に於きましては滿洲國の開發に關する諸々の施設を促進し一日も早く立派な滿洲國を建設することに努力して居るのであります。我々の先輩が新日本を建設する爲に私はおよそ六十年を費して居ると考へますが滿洲國の建設に携つて居ります者は多くも十年か十五年で而も餘り無理をしないで滿洲國を世界の文明國に劣らない立派な國家に仕上げ度いと云ふ大きな意氣込で不眠不休の努力を拂つて居るのであります。

×

而して此の滿洲國の開發に重要なる役割を演ずるものの一つは航空事業であると考ふるのであります。

滿洲國が有ゆる施設に率先して航空事業に手を染めたのも蓋し故ありと申さなければならないと思ひます。申す迄もなく航空は近代文明の最も尖端的のものでありまして今日では航空の發達の程度は一國文化のバロメーターであると言はるるまでになつたのでありますが特に我が滿洲國の開發には航空が絕大の貢獻を爲すのであります。

滿洲國は其面積に於て朝鮮を除いた日本全土の約二倍半でありますが鐵道の總延長線は現在僅か四千五百粁でありまして內地の二萬二十粁に對して五分の一弱であります。

これを面積の割合に比較すれば內地の約十三分の一と云ふ貧弱さであるのであります。

×

現在では道路は殆んど無いと云ふてもよい樣な狀態でありまして國內水運の便も亦必しも豐でなく交通設備は極めて不完全であります而もこの不完全なる交通設備はこれ迄絕へず匪賊に脅かされ安心して交通が出來なかつたのでありますから斯樣の事情は滿洲國の大部分大平原であつて氣流や氣象が良好であり且至る處飛行場が得らるると云ふ航空に最も適當した條件を備へて居ることと相俟つて航空機は滿洲に於ては最も安全確實な交通機關とせられて居るのであります。今日航空會社の營業線の各局間殆んど旅客充滿し特に新京以北に於ては日々半數に近き旅客を斷りつつあると云ふ盛況を見つつあるのも故ありといはなければなりません。

吉林省の奥には千古斧鉞を加へざる前人未踏の大森林があるのでありますが誰も完全に實側した人がありません斯樣な富源は矢張り航空の力に依つて調査せらるるのであります。

滿洲國の大部分は古來殆んど測量を實施したことがなく地圖なども完全なものがありません。從つて何處にどう云ふ部落があつて何處にどう云ふ可耕地があり何處にどう云ふ資源があるのか不明瞭なところが可成り澤山ありまして而も地上の測量は未だ不可能であります。斯樣の測量には當然航空機が利用せらるるのであります。日本でも今日黄金狂時代を招來して居りますが滿洲には各處に金鑛がありますところが折角金鑛を採掘しても之を運搬する途中で匪賊に奪略せられてしまふので結局手の附けやうがないと云ふのが之迄の實情でありますが航空機を使用すれば馬占山も追かけて來ず蘇炳文も奪略に來られず極めて安全で今後滿洲國の金鑛は航空機と協力して開發せらるるのであります最近滿洲國中央銀行では本店から支店へ金を送るに多數の護衛を付け大きな經費を費しても尚ほ汽車では不安であるから飛行機を利用する計畫をして居ります

×

新に鐵道を敷設する場合には新線に沿つて必ず定期航空を行つて居りますが無論人員、貨物の輸送に供すると云ふ意味もありますが匪賊に對する示威も大きいのでありまして事實匪賊は航空機の通つて居る附近へは決して寄りつかないのであります。

其他作付面積の調査收穫の調査等滿洲の開發には多大の貢獻を爲すのであります（二十一日放送）

一臨時雇員が賞與を國防費に獻金
「王道新」の差出人に對して鄭總理以下感激す

二十四日朝總務廳國務總理室に一通の書留郵便が配達せれた、鄭總理が受取つて差出人の氏名を見ると「營口花園町王道新」と云ふ人であるが嘗て聞いた事のない人、一月二十二日附營口四五八號の書留である

名前は一見滿洲人らしくあるがそれは王道新なりをもぢつたもので。どうしても本名とは受取れない。しかし宛名ははつきりと鄭孝胥閣下としてあるから總理が開封して見ると日本式の祭紙片假名書で極めて謹嚴な文字、然もそれには全文愛國の至誠烈々として溢れている、讀み聞かす鄭、内井兩秘書官が翻譯している間老總理の目がしらはいつか熱い玉を宿していた月給百五十元の一雇員が愛國の至誠を綴る純情に胸衝たれたのである、讀んでいる兩秘書官の聲もうち震へて靜寂な總理室が嚴肅な祭壇と化す、けらりと落ちた五十元の小爲替、これだけ賞與かどんなにか妻子の温かき惠みの糧となるやも知れぬ下級官吏の身で其れを受取つた、總理は掬めども盡きぬこの人の心と身の上に感謝の思ひをはせ默然としてたゞおし頂いているのであつた

二十四日朝まだきの出來事

愛國の至誠によつて認められた手紙の全文は次の通りです、よしそれが滿洲人であらうと日系官吏であらうと人に迫らずにおかないのです

謹啓

閣下には御老體をも顧みられず建國以來日夜寢食を忘れて國家の基礎確立の爲努力せられつゝありと承り私共職を滿洲國に奉ずる者のみならず滿日兩國民の等しく感謝に堪へざる所であります

私は某官衙の一臨時雇員で月俸百六十元を頂いて親子三人何の不自由なく生活して居りますが昨日思ひも及ばざる賞與金五十元を賜りました

此の賞與金を頂きますとき私の手は自ら打震へるのを禁ずる事が出來ませんでした

何故かと申しますと國家の現狀は外は國際聯盟の議題の中心にあり内は尙匪賊その跡を斷たず國民未だその堵に安んずとは云ひ難く且つ財政の基礎未だ强固なりとは認め得ざる狀態にありと愚考致して居ります

此の秋に於て尙私共下級官吏の生活をお察し下さつて多額の賞與金を賜つたことは言語を以ては現はすことの能はざる感激その者であります

又事實に於て此の賞與金を賜た者の大多數は直ちに此を生活の費に充當したであらうと存じますが私は先に申上げた如く此の賞與金なくとも生活し得るのでありますから之を賜た時感涙にむせぶと共に之を私事に使用すべきに非ず宜しく國家の用に供すべしと存じたのであります

故に之を國防費の一部に御使用願ひたく閣下の御手元へ御送り申上げた次第であります

御嘉納下さらんことをお願ひ申します

寒氣凛冽の折柄國家のため御自愛の程偏へに祈上ます

敬白

大同二年一月二十一日　一臨時雇員拜

國務總理　鄭孝胥閣下　侍史

一少年から血染の日章旗
新京警備隊員感泣

國都新京の護りとして不眠不休の警備に當つて居る新京警備隊に、廿四日福岡縣鞍手郡若宮村の刀鍛治工見習中島一美なる少年より拙い乍ら細々と認めた手紙に血を以てえがかれた、日章旗を添へて送つて來た、右の日章旗は方一尺許りの手巾に畫かれ、右に入日本左に努力して下さいと書いてある、慰問手紙の末尾には

私は此の日章旗を作るため午前六時から起きて川で身を清めてかかりました、然し皆樣が滿洲で受けて居られる苦難を思へば火の中水の中でも厭ひは致しませぬ

と記してあり、同警備隊でも其の赤誠に痛く感激して居る

派遣軍慰問團
廿五日新京着

報知主催の派遣軍慰問團一行は北滿の慰問を終へて明廿五日午後三時三十五分ハルピンより新京へ到着するが同日午後六時より新京高等女學校講堂に於て、地方事務所後援の下に一行の人氣者大辻司郎の漫談に最高級トーキーの映畫を以て「漫談と映畫の夕」を開催、入場無料で先づ一般市民に挨拶し、二十六日は愈々軍部慰問の手筈である

新京の行事

二十五日

▲午前三時三十五分新京驛着直に長春神社に參拜

▲午後四時團長及代表(一)執政訪問

▲午後四時半全員總務總理訪問

▲滿鐵及警察慰問會開催午後六時より於て新京高女講堂

二十六日

▲午前九—十時軍司令部訪問軍司令官訓示(於第四課弘報室)

▲午前十時より講話約一時間に亘り滿洲の現狀に就て講話者藤本參謀

▲軍司令部招待(晝食於右文俱樂部)

▲南嶺、寛城子戰場見學、說明者　新京滿鐵地方事務所社會主事宮地一元

▲午後六時軍隊慰問會開催於新京高等女學校講堂

▲午後八時卅一分より十三分間團長の內地ラヂオ放送

二十七日　吉林往復

二十八日

午前九時五十分新京驛發公主嶺行

なほ一行は團長山森理一氏以下青年代表二十名報知新聞特派員七名、撮影班二、計卅名なり指導は參謀部第四課之に任ずるものです、本計畫は多少變更することあるべし

皇軍軍醫部
施療頗る好評

駐滿の我軍軍醫部では滿大、滿鐵等と聯絡して各地で施療を行ひ、昨年末迄にその數十數萬に達して居るが今年に入つてから討伐將士を治療する余暇に引續き各地で施療を行ひつつあるが、一月廿日迄の施療數は

地名	數
連山關	一、八二〇人
安東	七五一
虎石臺	三八三
錦州	三一九
打虎山	二八三
洮南	四七六
通遼	一八五
寧安	一、二七一
佳木斯	六五〇
ハイラル	三一一
合計	五、九四八

の多數に達し施療開始當時は嫌つて居た病者も漸次我軍の眞意を理解して現在では進んで治療を受けるのみならず最も嫌がる施術も安心して要求すると言ふ有樣で非常なる成績を納めつゝある

本庄將軍から商業へ感謝狀

新京商業學校生徒一同は一昨年北滿事變の勃發以來銃後の民として勉學の暇を裂いては飛行場工築の手傳に、守備隊火葬場工築の手傳に又兵隊の宿泊に對する便宜をはかる等涙ぐましい迄の活動に對し生徒の行屆いた慰問に感謝の微意を表すべし、關東軍司令部では二十四日步兵少佐石川忠夫氏を新京商業學校に遣し感謝狀を送つた

感謝狀

新京商業學校

昭和六年九月十八日滿洲事變勃發當夜第四、第五商業學校生徒は野外教練の目的をもつて配屬將校坂田少佐引率の下に公主嶺騎兵第二聯隊に宿泊中なりしが聯隊に出動命令下るや勇躍兵器材料の運搬搭載を援助し遺憾なく教練の精華を發揚せり又南嶺の戰鬪に際しては獨立守備步兵第一大隊を助けて火葬場の工築、復舊工事に任じ協力一致よく其の至誠を致せり更に又九月廿日步兵第三旅團司令部より長春飛行場建設工事援助の依頼を受けるや同校長自ら生徒四百名を引きし炎暑と飢餓を忘れて晝夜兼行する事二日遂にこの大作業を完成せしめもつて軍の速戰を容易ならしめたり

之獨り學校教育史上の精彩たるのみならず實に滿洲事變史上の光彩たり

茲に其の奮鬪を錄して深甚なる謝意を表す

昭和七年八月七日　關東軍司令官　本莊繁

新京署武道寒稽古

新京署の武道寒稽古は舊正月警戒の爲延び〳〵となつてゐたがいよ〳〵來る二月一日から十四日迄二週間行ふ事となり毎日午後四時から五時迄本署振武館で行ふから地方有志の參加を希望すると

經濟事情案內所
利用者が多い

既報十八日新に設立された滿洲經濟事情案內所は滿洲經濟事情渴望の時とて早くも紹介を乞ふ者一日二三十名に上り繁忙を極めてゐる

新京署の武道無級者試驗

新京署では最近の新京幹部巡査併せて約六十名の無級者の武道試驗を來る二十七、二十八の兩日午前十時半から行ふ事となつた

六大學リーグ一シーズン制に反對

(東京廿四日發國通)東京六大學野球リーグの懸案たるリーグ戰一シーズン案を昨日午後七時東京會館の六大學野球先輩團協議の結果、一シーズン制反對と決し二シーズン制を支持することとなり近く積極的運動を開始することとなつた

四平街憲兵分隊の寒稽古

(四平街支局發)四平街憲兵分隊では去る二十日より樓上講堂に於て柔劍道の寒稽古を開始隊長以下全員猛練習を續けて居る、

耕作畫伯展

既報の通り廿八日から二日間新京圖書館で代谷耕作畫伯の作品展が催される、代谷畫伯は四條派の大家庭山耕園師の高弟で出藍の才あり花鳥畫の蘊奧を極め斯界新進の逸足で滿二ケ年の歐米巡遊の結果和洋兩畫の長所を採り獨創の大繪を考察した人である

電話を續る不愉快な二ツの事件

中央銀行

もう二週間にもならうか中央銀行から本社へ電話があつた要は十幾部か配達してゐる本紙が一部足りないといふのである恐れ入つた本社では「相濟みません」と毎日々々の配達でそんな筈はないと思ひますが、もしや紛失したやうなことでもあつたのではございませんでせうか」と申上げたところがだ「何を失禮なことをいふ、無いから無いといふのだ、文句をいはずに持つて來い」……ガチャンと電話をきられてしまつた、勿論大事なお客さまそうはそうでお詫びもしませうが余りといへばなさけない仕打ち、こちらも客商賣、中央銀行も客商賣も少し電話サービスにも御注意遊ばされては……

梅屋旅館

これは二十四日のこと、人事往來の本社係が梅屋旅館さんへ例によつて「人事往來を願ます」と電話した、女中さんに人事往來といふことが判らなかつたらしい、「有名な人でお泊りになつた方とお立ちになつた人はありませんか」と再びいひ直してみた、ところがどう感違ひしてかガチャンと電話を切つてしまつた、大切な梅屋旅館さんにお泊りになつた方々を人事往來欄から落しては梅屋さんに對しても一般讀者にも申譯ないので再び電話した女中さんにはお判りにならないと思ひ「帳場さんへ願ます」そこへ出て來た帳場さんに前のやうに繰り返してたづねたところがナー「九州から來た女にむづかしいことをいつたつて判らぬ」とのこと、こちらは別に梅屋旅館さんが九州から女中さんをお雇ひになつたことも知らないので「そうでしたか」と答へると「余りむづかしいことを聞くな、けふナイワ……(言葉通り)……でガチャン、お客さんを扱ふ否それが明けくれの商賣である旅館營業者梅屋旅館さんもつと何とかなりませんかしら

坂田だ
特務部の國都建設局?の御仁

これはチト問題、二十三日夜大同クラブへ、の電話、○○さんを呼んで下さい、女中さんがこの旨告げたが惡友にひつぱり出されてたまるものかと寢てゐる旨を答へさしたらしい、そしたら國都建設局○○だと係長の名で呼び出せやうとした、けれどその係長は數日前大同クラブから內地へ旅立つてゐる、ちよつと皮肉つたらしい、ところが「いや俺は關東軍特務部の坂田だ」と解まで代えての挨拶併しどうにも本人が出て來ぬので結局四二一六番へ電話をかけるやうにと命じて完了(この項投書による)……余り調子に乘つて偉い人の名を使つてゐるとよろしくありませんぞ

讀者らん

▲日本山妙法寺の信者伏見善太郎氏は過般寺院建築に當り自分が主なる運動者となりて信者は無論一般に寄附を仰ぎて昨年夏梅ケ枝町に立派なる建設されたがそれと同時に從來自己の持家は二軒共に高價なる料金にて他人に貸付け自分は家族と共に新築妙法寺に移住して居れるが之れは脫線的行爲であるまいか一般市民の判斷を乞ふ(寄附生)

現代女性の美容法に就て
新京美容院主談

現代の女性美容

今更申す迄もありませんが現代の女性美容は大變昔と變つて參りました、時代の要求する美容は健康と朗かな精神を基調とした自然を生かしたものでなければなりません

先づ理性美此れに最も重きを置きます、朗かさ、明かるさ、素直さの現はれが心性美で之れは自然に外部に舉動や顏に現はれ、殊に一番目がこれを物語つて呉れます

魅力に富んだ美しい眼で人をチヤームするい感じを與へるのは矢張り此の眼であります、眼は心の窓とも云はれる位で、あなたの人格を最もよくあらはし、最も深い印象を人に與へるものであります

扨而此の美眼法といたしましては種々御座いませうが、皆樣の自然を生かしよく調和の取れるしかも簡單でパッチリ魅惑的に眼を美しくする最新式ピウラ(附マツ毛)の御使用法を御すゝめいたします

極寒に於ける美顏法

先づ御承知の通り第一に地肌を整へることが肝心です御當地の樣に殊に昨今の極寒に入り、皮膚に取つて一番恐しい季節になつて來ました、肌の御手入には細心の注意が必要で御座います、極く簡單に申上げますれば、洗顏は必ず微温湯で荒れ易い此の頃には熱い湯で洗顏して急に外の冷たい空氣にふれない樣にすることが必要です

洗顏後は先づマツサージクリームとマツスルオイルを塗り其上からタオルで温めます、此場合注意すべきは温めすぎないことです、次に御好みの御自分の自然を生かした御化粧を遊ばすがよろしゅう御座います(新京美粧俱樂部主人談)

ちまた

◎精養軒のマイ子付みなれた新京に見切りをつけて近い中に內地に歸りそしてマルマゲ姿も嬉しく大學の彼氏の妻になるそうです

▲同じくシゲミ先夜感慨深げに話してゐました「頭の禿げたロートルが私の耳に口當てゝ十圓やるから……子若し嫌なら二十圓やるから……」をなんて新京の人には鼻下長が多いのネ」

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	一三〇	カレイ	一一〇、
氷鯛	五二	ヒラメ	一七
チヌ鯛	四〇	ボラ	一三
進子鯛	四〇	コチ	三〇
コノシロ	二八	アマ鯛	八
キス	四〇	小タイ	一八・六二
イワシ	一〇	マグロ	一三〇
ナマガツオ	一、二〇、		七〇
ブリ	二六	ハゲ	五〇
サワラ	八〇	オコゼ	二五
サバ	一七	ムツ	一三
アヂ	二〇	タコ	一〇五
中イカ	二五・五〇	小イカ	五
クルマエビ	一二〇	ホタテ貝	一二・八
コエビ	二五	カニ小	三六・二四
アナゴ	一〇・一五	貝柱	四〇・二八
ナマコ	一五	アワビ	一五・四五
カキ	三〇	シジミ	五
カマボコ	一一五	テンプラ	八

關西ダンス界の明星名ダンサー
銀子孃外數名近日來館

踊れ!踊れ!踊らぬものに誰がおよめにゆくものか…これは南洋土人の娘の心意氣を唄つた小唄であるこの心意氣は獨り南洋土人の娘の心意氣ばかりではないやうだ、見給へ今日此頃新京ペーブメントのアスファルトの舗道を活歩するモボ連の歩き振りを!自然に備はるステップの足取り、夫れは獨りモボの足取りばかりでなしに職業戰線に活躍する新政府邊りのタイピスト孃も、女店員も、さては奥樣も女中も藝者も悉くも現代社會層に生存意識を持つ誰しもが意識的にか無意識的にか知らずしくの裡にステップの足取りを眞似てるやうだ在住邦人一萬五千に足らぬこゝ新京にも新京會館とキャピタールの二つのダンスホールがある、青い灯紅い灯、の交錯する裡で脂粉の香りと立籠める香煙の香りを滿喫し息もつかせず奏でられるジャズの妙音と香り高い洋酒に海苔と醉い心地で踊ろ!踊ろ!赤い灯青い灯が明滅し始める頃から最後のジャズが奏でられるまでみじろぎもせず踊り拔かうといふ熱心な連中で新京二つのダンスホールは毎夜文字通り滿員であるキャピタールが嘗に東京から數名のダンサーを招聘して從來女給上りの少し氣のきいた程度の新京のダンサーで間に合せて居た新京のダンサー界に一エポックを畫いたが新京會館も之れに對抗的意味が含まれて居るか否か知らぬが今度關西ダンス界の明星と唄はれた名ダンサー銀子孃外數名を招聘し新京のダンスファンをアッといはせようとの目論見である、同孃一行は近日來京するとのことでモボ連の歩調戰線へは更に一層の變調が來ることであらう(廣告)

初春の衣裝
新柄陳列
吉野町二丁目
㊅ 村岡呉服店
電話二一二四番

ウオツカと葡萄酒
新年の皆様是非一度御試み下さい、卸、小賣致します
製造所日本橋通り四四 善生堂醫院前
ミハイル、コサチ

食料品と
雜貨は
市場の
日華洋行へ
配達は飛行式
電話三三四三 三八二五番

實用にも娛樂にも自轉車のシーズンが參りました安くて丈夫な自轉車は是非當店へ
特に子供用として堅牢無敵の自轉車をおすすめ致します
各種自轉車販賣
エルジン、エフケー自轉車特約店
東一條通り
池畑自轉車商會
電話三四二三番

僅かの電氣料で御飯が美味しく炊ける
文化『かまど』と保熱釜
萬能七輪
電氣コタツ
其他電熱器各種多數入荷
日本橋通
電氣の店 和登洋行
電話二〇四〇番

エヌ、エス、ペトロフ商會
新京日本橋通り三〇
上海アベエユウジヨフル七五八
哈爾賓キタイスカヤ街七三
冬期も殘り少なになりましたに依つて各種毛皮製品に對し二割引斷行

婦人用外套　帽子
紳士用外套　首卷
子供用外套　肩掛
毛皮ズボン　カワウソ
同長靴　各種襟類

以上當商會の作製品揃ひ
是非共御立寄の上御一覽下さいませ

機械工具
煖房材料
水道用品
衛生陶器
油脂塗料
長春日本橋通六〇
東華洋行
電話三三五七番

和洋家具、敷物
窓掛、文房具
洋品雜貨、建築材料
新市日本橋通
品川洋行新京支店
電話三〇六二 二五九三番
本店 大連　支店 奉天

金洲澤庵
味自慢の漬物
一、味付澤庵 九、〇〇
一、奈良漬 四、五〇
一、良京漬 四、五〇
一、福神漬 四、二〇
一、白菜漬 三、二〇
一、紅梅
一、ベツタラ漬
一、皮引大根
一、粕漬大根
一、茄子芥子漬
一、ワサビ漬
寶洋行
漬物部
電話三七三二番

盛京時報
本社 奉天
新京支社
祝町二ノ二〇
電話二五一七
創刊明治三十九年、滿洲に於ける漢字新聞として最古の歷史を有し、多年扶植培養せる信望と勢力とは確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、斷然之の王座を佔む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也

營業品目案内
マーキ籐椅子各種入荷
室內裝飾品
內外各織物
敷物種々
西洋家具類
日本橋通四十六番地
橫山洋行支店
電話三八三一番
本店所在地
奉天浪速通二十七番地
電二三九〇番
振替口座大連二六四〇
發電略號ホヨ

鍼灸治療は醫術の補足と見る可くリユウマチス神經痛の如き容易に治し難きものも旬日を出ずして容易に全治する事を得べし其の他瘍、チヨウ、セツの如き一切の腫物は切開せずして治療し瘢痕或は機能障害を胎すことなし
胃傷病特効藥並下熱セキ止メ肺炎の妙藥あり
新京室町三丁目七 公學校前
吉光堂療院
電三七三六
鍼灸師 勳七等 吉田光

新疊と上敷各種
表替と裏替
お電話を頂きましたら早速お見積りにお伺ひ致ます
日本一サカイ式疊床製作
新京東二條通警察署院西橫
兒玉疊商店
電話二一九〇番

御待ち兼ねの
『キツスイ』の喫茶店が生れました
朝……の輕い「トースト」の御食事
晝……御晝食後のレモンティー
夕……の御散策の御疲労に
江戸前のおしるこ……
茶　コーヒー
しるこ　いざんぜ
ジャムトースパン
飯　赤
種各キーケ
出前　迅速
吉野町二丁目
朝日堂喫茶部

營業種目
東亞ペイント會社製品
セメント防水劑「ウオータイト」
膠着劑菱光グリユー
日進式メタルラス類
川崎工場製鐵網類
ヤマト・コントローラー
內外洋服地並附屬品卸
新京日本橋通廿五番地（電話三七三一番）
加藤洋行新京支店
本店 天津、支店 大連、奉天、大阪、東京

各種
印刷
新京に印刷工場を設けました
各種印刷
MC 近澤洋行印刷工廠
新京入船町二丁目一七
電話三四四一番（取次）
明治四十四年創業 紙さ印刷 朝鮮本店
京城府長谷川町七四 電話本局｛一九八九 二二七九 二二五四 三九〇七番
大正七年創業 紙さ印刷 哈爾賓支店
埠頭區中國十四道街 電話｛四一八七 三七八四番

日本橋通り
㋐ みしまや呉服店
電話二五三五番

辯護士
法學士
大原萬千百
老松町十六番地
（元競馬場跡朝日通北側）
電話｛三九三七 三九六七｝番
哈爾賓地段街東術ビル內
電話四五〇六番

辯護士 沼田勇
吉野町一丁目三番地
電話三七二八番

グリルルーム開設
愈々御期待ノグリルルームヲ廿二日ヨリ一般開業致シマシタ何卒御試食ノ程御願シマス
中央通三十五番地
㊞ 國都ホテル
電話代表四四一五番

ハンヤはヒラタ
美術印章
ゴム印彫刻
水章印章
並ニ附屬品一切
新京祝町二丁目
平田印房

各種
指定販賣
撫順炭
新京日本橋詰
泰利號
電話三一六九 二七六〇番

長春美容院
髮結　洋髮
美術顏法
化粧
付着服交社
付着裳衣禮婚
內店書屋ワツミ前場市町野吉
電話二三一番

煖房、水道
衛生工事
洋灰加工
其他附帶工事
建材製造販賣
工事請負
吉備洋行
電話三八三番
工場二七六〇番

御待ち兼で
「御座いました」
最新流行形荷揃
各種フエルト、ゴム底
各種履物
新京吉野町二丁目一四
㊂ 小林履物店
電話二三四四番
輸入組合加盟店

銘酒
月瀨
醸造元
森川長春支店
電話三八〇八番
曙町二丁目